

第9課 練習 Lekce IX – Cvičení

受容 Porozumění

I. Interpretujte (překládejte) texty s konstrukcemi přímého pasiva. Případné neznámé lexikum vyhledávejte ve slovnících.

- a. 久しぶりにデートに誘われて、嬉しいです。
- b. A: 急いでいますね。
B: 社長に呼ばれたんですよ。すぐに行かなければなりません。
- c. 今日、先生にほめられました。「よく頑張りました。」と言われました。
- d. ビートルズの歌は今でも世界中の人々に歌われています。
- e. フリーマーケットでは面白い物がいろいろ売られています。
- f. 『ハリー・ポッター』はイギリス人の女性によって書かれました。
- g. 法隆寺は607年に建てられました。
- h. Q: 今年の世界子ども会議はどこで開かれますか？
A: 広島で開かれますよ。
- i. 日本酒は米と麴と水から造られます。
- j. 先生に文法の間違いについて注意されました。

II. Interpretujte (překládejte) věty se slovesy v pasivním tvaru v přívlastkové pozici.

- a. 1958年に建てられた東京タワーは、観光名所として知られています。

- b. 19世紀せいきに書かれた小説しょうせつの中で有名なのは森鷗外もりおうがいの『舞姫』まいひめです。
- c. コリーンの工場こうじょうで生産せいさんされた車は海外かいがいにも輸出ゆしゅつされています。
- d. 最近さいきん、発売はつばいされるヨガのDVDは、特とくに若い女性わかじょせいが好きだと言われています。
- e. 日本で使用しようされている硬貨こうかは、1円、5円、10円、50円、100円、500円の6種類しゅるいです。

III. Interpretujte texty s konstrukcí pro vyjádření reprezentativního výčtu predikací.

- a. 夜、本を読んだり、音楽を聞いたりします。
- b. 日曜日にテレビを見たり、友達と話したりしました。
- c. 明日あした、工場こうじょうに行ったり、実習じっしゅうしたりする予定よていです。
- d. いつか飲みに行ったり、映画を観みに行ったりしませんか？
- e. 有名人ゆうめいじんに会ったりしたことはありません。
- f. 来年日本に行つて、秋葉原あきはばらに行ったり、漫画まんがを買ったりしたいです。
- g. 真面目まじめに勉強したり授業を休まなかったりする学生は日本語が上手になります。
- h. ここではタバコを吸ったりお酒を飲んだりしてはいけませんよ。
- i. お酒を飲んで、うるさかったり、喧嘩けんかしたりする人が大嫌いです。
- j. 気分きぶんが悪わるいんですか。薬を飲んだりゆっくりしたりした方ほうがいいと思いますよ。

IV. Interpretujte následující dialogy. Případné neznámé lexikum vyhledávejte ve slovnících.

- a. Q: 学校で毎日何をしますか？
A: 日本語を勉強したり、^{こうぎ}講義を聞いたりします。
- b. Q: 日曜日、どこかへ出かけましたか？
A: いいえ。うちで本を読んだり、手紙を書いたりしました。
- c. Q: 夜、いつも何をしますか？
A: 友達と話したり、新聞や雑誌を読んだりします。
- d. Q: 昨日何をしましたか？
A: デパートで買い物したり、町を^{ある}歩いたりしました。
- e. Q: 週末、たいてい何をしますか？
A: テニスをしたり、友達のうちへ遊びに行ったりします。
- f. Q: ^{びょういん}病院で何をしてはいけませんか？
A: ^{けいたいでんわ}携帯電話を使ったり、タバコを^す吸ったり、^{はし}走ったりしてはいけませんよ。
- g. Q: 日本で何をしなければなりませんか？
A: 日本語を勉強したり、^{こうじょう}工場で^{じっしゅう}実習したりしなければなりません。
- h. Q: 日本の春は、どんな天気ですか？
A: 雨が^ふ降ったり降らなかったりします。

V. Interpretujte texty s konstrukcemi pro vyjádření nutnosti.

- a. A: 会社の方は英語が分かりますか？
B: いいえ、分かりません。ですから、日本語で話さなければなりません。
- b. A: 何時までに^{りょう}寮に帰らなければなりませんか？
B: 12時までに帰らなければなりません。

c. A: もう寝るんですか？

B: はい。明日は8時からクラスがあるので、早く起きなくてははいけないんです。

d. A: 今晚飲みに行きませんか？

B: すみません。今日は妻と約束があります。ですから、早く帰らなければなりません。

e. A: たくさん買いましたね。

B: そうですね。新しいクラスが始まるので、教科書を買わなくてはいけませんでした。

f. A: 金田さんはよくテニスをしますね。

B: そうですね。週末、テニスの試合があるので、練習しなくてはいけないと言っていました。

g. A: どうしたんですか？ 疲れているんですか？

B: はい、疲れしました。母が病気なので、私は自分で洗濯しなくてはいけないんです。

h. A: 最近、まじめに勉強してますね。

B: 頑張っています。いい大学に進学したいから、成績がもっと良くなければなりません。

i. 子供の頃、父に「男の子は強くなくてははいけないよ。」とよく言われました。

j. A: この書類はだめですよ。

B: えっ？ どうしてですか？

A: ここに先生のサインがなければいけませんから。

構造 Strukturní cvičení

I. Utvářejte od zadaných sloves pasivní tvary neminulé kladné prosté a zdvořilé.

例： 見る → 見られる → 見られます

a. 読む → →

b. 使う → →

c. 話す → →

d. 食べる → →

e. 書く → →

f. 勉強する → →

g. 建^たてる → →

h. 買う → →

i. 着る → →

j. 殺^{ころ}す → →

II. Převádějte aktivní predikace do predikací pasivních.

例： テロリストはあの町の人を^{ころ}殺しました。 → あの町の人^ははテロリストに殺されました。

a. 吉川英治^{よしかわえいじ}が『宮本武蔵^{みやもとむさし}』を書きました。 →

b. たくさん^の人^がが『宮本武蔵^{みやもとむさし}』を読みました。 →

c. 先生^はは、今朝、私^をを呼^よびました。 →

d. 日本人^ががゴッホのその^え絵^をを買いました。 →

e. 日本人^ももこの歌^ををよく歌います。 →

- f. 朝早く、妻^{つま}が私を起しました。 →
- g. 山川さんは直美^{なおみ}さんを映画に誘^{さそ}いました。 →
- h. 亮一君^{りょういちくん}が圭太君^{けいたくん}を殴^{なぐ}りました。 →
- i. この町で国際会議^{こくさいかいぎ}を開^{ひら}きます。 →
- j. 1700年に初^{はじ}めてアメリカの大統領^{だいてうりょう}を選^{えら}びました。 →
- k. 甲子園^{こうしえん}で毎年^{ごうごうやきゅう}高校野球^{しあい}の試合^{おこな}を行います。 →
- l. 350年ぐらい前に日光^{にっこう}の東照宮^{とうしょうぐう}を造^{つく}りました。 →
- m. このホテルは、有名^{ゆうめい}な建築家^{けんちくか}が建^たてました。 →

III. Vytvářejte věty s pasivním slovesem v aspektu trvání.

例： カナダでは英語もフランス語も[話す]。 → カナダでは英語もフランス語も話されています。

- a. クレジットカードは便利^{べんり}だから、たくさんの人に[使う]。 →
- b. 東大寺^{とうだいじ}も伊勢神宮^{いせじんぐう}も全部^{ぜんぶ}、木で[造る]。 →
- c. マンガは、子供からお年寄^{としよ}りまで、色々な人に[読む]と聞きました。
→
- d. チェコ語に一番^{いちばん} [翻訳^{ほんやく}する]日本人の小説家^{しょうせつか}は村上春樹^{むらかみはるき}です。 →
- e. 日本の憲法^{けんぽう}はちょっと古い日本語で[書く]と思います。 →
- f. 本物^{ほんもの}はありませんが、その書類^{しよるい}は[コピーする]。 →
- g. この居酒屋^{いざかや}では、自家製^{じかせい}のお酒がよく[飲む]。 →

IV. Doplňujte do vět zadané výrazy objektu (aj.) a sloveso v pasivním tvaru podle vzoru. Výsledné věty překládejte (v externích zdrojích dohledejte neznámé výrazy).

例： 【ジャパントイムズ 読む】 → 北海道から沖縄まで、日本中で
ジャパントイムズが読まれています。

- a. 【新しい^{ぎじゅつ}技術 使う】 → 最近の映画には CG などの_____ています。
 す。
- b. 【英語や中国語 話す】 → シンガポールでは、_____ています。
- c. 【行事^{ぎょうじ} 行^{おこな}う】 → 今年の1月13日は「成人^{せいじん}の日^ひ」で、日本各地^{かくち}
 でいろいろな_____ていました。
- d. 【日本^{つた} 伝^{つた}える】 → 仏教^{ぶつぎょう}は6世紀^{せい}の半^{なか}ばに中国から_____たと
 言われています。
- e. 【いろいろな^{しょうひん}商品^う 売^うる】 → 最近では、インターネットのオーク
 ションで、_____ています。

V. Tvořte odpovědi na otázky s konstrukcí pro vyjádření reprezentativního výčtu akcí/stavů podle vzoru.

例： Q: 休みの日はどんなことをしますか？（本を読みます、買い物に行きます） → A: そうですね。本を読んだり、買い物に行ったりします。

- a. Q: 夏休みにどんなことをしますか？（海^{うみ}に泳^{およ}ぎに行きます、山^{のぼ}に登ります） → A:
- b. Q: 昨日は何をしましたか？（部屋^{へや}の掃除^{そうじ}をします、洗濯^{せんたく}をします） → A:
- c. Q: 魚^{さかな}はどうやって食べますか？（煮^にます、焼^やきます） → A:
- d. Q: バスの中でどんなことをしましたか？（カラオケで歌^{うた}います、クイズをします） → A:

- e. Q: 野菜の値段はどうですか？ (高いです、安いです) → A:
- f. Q: 仕事はどうですか？ (暇です、忙しいです) → A:
- g. Q: そちらの気候はどうですか？ (暑いですが、寒いですが) → A:
- h. Q: 試験の成績はどうですか？ (いいですが、悪いですが) → A:
- i. Q: 日本語の勉強は楽しいですか？ (楽しいですが、苦しいですが) → A:

VI. Převádějte přísudky v následujících predikacích do tvarů pro vyjádření nutnosti podle vzoru.

例： 早くうちへ帰ります。 → 早くうちへ帰らなければなりません。 /
早くうちへ帰らなくてははいけません。

- a. 毎日漢字を六つ覚えます。 →
- b. パスポートを持ちます。 →
- c. 午後、買い物に行きます。 →
- d. 食後にこの薬を飲みます。 →
- e. 会社に電話をかけます。 →
- f. 毎日三時間勉強します。 →
- g. 毎朝早く起きます。 →
- h. 10時に寝ます。 →

VII. Převádějte tvary otázkových predikativů na tvary vyjadřující nutnost a tvořte odpovědi podle vzoru (+ = kladná odpověď, - = záporná odpověď)

例₁： 来週、出張しますか？ (+) → Q: 来週、出張しなければなりませんか？ A: はい、出張しなければなりません。

例₂： 来週、出張しますか？ (-) → Q: 来週、出張しなければなりませんか？ A: いいえ、出張しなくてもいいです。

- a. レポートを出しますか? (-) →
- b. パスポートを^も持って行きますか? (+) →
- c. 今お金を払いますか? (-) →
- d. 今晚、勉強しますか? (+) →
- e. 明日も行きますか? (-) →
- f. 毎晩、日本語の^{ろくおん}録音を聞きますか? (+) →
- g. この本を読みますか? (-) →
- h. パソコンを使いますか? (+) →
- i. 教科書を買いますか? (-) →
- j. ^{くすり}薬を飲みますか? (+) →

VIII. Přeformulujte následující věty tím, že konstrukci s pasivem nahradíte vhodným *džidóši* (ontologický objekt zůstává zachován).

例: ドアが^あ開けられました。 → ドアが^あ開きました。

- a. 電気が^あつけられて、明るくなりました。 →
- b. 彼女の^{びょうき}病気が^{なお}治されたので、来月旅行すると言っていました。 →
- c. A: 会社の名前が^か変えられたんですね。 B: そうですね。 →
- d. あの店は^{ねだん}値段を上げたから、^う売り上げが^あ落ちたんだと言う。^{とく}特に
^{しょくりょうひん}食料品が20パーセントも^あ上げられた。 →
- e. ^{そうべつかい}送別会の日がちが^き決められました。10日です。 →
- f. ^{しゅっぱつ}出発しましょう。みんなは、もう^{あつ}集められましたよ。 →

IX. Utvářejte číselné výrazy spojením číslovky a číselného klasifikátoru podle vzoru.

例： 傘 (3) → 三本

- a. 会社員 (5) →
- b. CD (7) →
- c. オレンジ (2) →
- d. バナナ (4) →
- e. ナプキン (6) →
- f. フランス人 (2) →
- g. 机 (1) →
- h. 卵 (8) →

X. Utvářejte odpovědi s číselnými klasifikátory podle vzoru.

例： Q: りんごがいくつありますか？ (3) → A: 三つあります。／
三個あります。

- a. Q: 机 がいくつありますか？ (2) → A:
- b. Q: 灰皿 がいくつありますか？ (4) → A:
- c. Q: 卵がいくつありますか？ (6) → A:
- d. Q: いすがいくつありますか？ (5) → A:
- e. Q: かばんがいくつありますか？ (2) → A:
- f. Q: 鍵がいくつありますか？ (7) → A:
- g. Q: 切手がいくつありますか？ (3) → A:

XI. Utvářejte odpovědi s číselnými klasifikátory podle vzoru.

例： Q: 家族は ^{なんにん} 何人 ですか？ (6) → A: ^{ろくにん} 6人 です。

- a. Q: ^{きょうだい} 兄弟 は何人 ですか？ (4) → A:
- b. Q: 子どもは何人 ですか？ (2) → A:
- c. Q: タイの ^{けんしゅうせい} 研修生 は何人 ですか？ (1) → A:
- d. Q: ^{りゅうがくせい} 留学生 は ^{ぜんぶ} 全部 で何人 ですか？ (10) → A:
- e. Q: 二年生は何人 ですか？ (15) → A:
- f. Q: 学生が何人 いますか？ (4) → A:
- g. Q: 外国人の社員が何人 いますか？ (2) → A:
- h. Q: 女の子が何人 いますか？ (6) → A:
- i. Q: 男の子が何人 いますか？ (3) → A:
- j. Q: 子どもが何人 いますか？ (1) → A:

XII. Utvářejte otázky a odpovědi s číselnými klasifikátory podle vzoru.

例： 1 košile → Q: シャツが ^{なんまい} 何枚 ありますか？ A: ^{いちまい} 一枚 あります。

- a. 2 televizory →
- b. 5 CD →
- c. 3 počítače →
- d. 2 obálky (^{ふうとう} 封筒) →
- e. 5 automobilů →
- f. 30 strojů (^{きかい} 機械) →
- g. 5 známek →
- h. 2 učitelé →

産出 Produkce

I. Překládejte dialogy z češtiny do japonštiny. Využívejte konstrukce přímého pasiva:

- a. Q: Kdy byl postaven tento chrám?
A: Byl postaven v období Edo.
- b. Q: Kde se bude pořádat příští konference?
A: Bude se konat v Kóbe.
- c. Q: Kdy byl tento román napsán?
A: Byl napsán zhruba před pěti sty lety.
- d. Q: Z čeho bývaly kdysi domy v Japonsku.
A: Dělalý se ze dřeva.
- e. Q: Z čeho se vyrábí pivo?
A: Vyrábí se z obilí (麦^{むぎ}).
- f. Q: Kam se vyváží toto zboží?
A: Vyváží se do Evropy.
- g. Q: Odkud se dováží rýže?
A: Rýže do Japonska dovážena není.

II. Překládejte do japonštiny s využitím konstrukcí pasiva a aspektu trvání.

- a. Tato píseň se zpívá v kostele.
- b. *Kandži* se používají v Číně, v Japonsku aj.
- c. Tato ryba se jí také ve Španělsku či Itálii.
- d. Tento román se čte v různých zemích.
- e. Tato kniha je přeložena do mnoha jazyků.
- f. Nápoj zvaný „Hoppí“ se pije v levných hospodách.

III. Překládejte odpovědi na otázky do japonštiny.

a. Q: 土曜日は何をしますか？

A: Půjdu na procházku, podívám se na video a tak.

b. Q: 休みの日は何をしますか？

A: Trénuju golf, čtu si doma knížku apod.

c. Q: パーティーで何をしますか？

A: Tancujeme, zpíváme písničky...

d. Q: 冬休みは何をしたいですか？

A: Chci jet na lyže, dělat večírky s přáteli a tak různě.

e. Q: 出張しゅつちようのまえ前に、何をしなければなりませんか？ (出張 = služební cesta)

A: Musím vytvořit podklady (資料しりよう), odeslat report a udělat další věci.

f. Q: 日曜日は何をしましたか？

A: V neděli, to jsem vysával, pral a tak.

g. Q: 夜はたいてい何をしますか？

A: Obvykle si dávám koupel nebo se dívám na televizi.

h. Q: お父さんは休みの日に何をしますか？

A: Chodí s maminkou do obchodního domu, hraje si s mým bráškou...

i. Q: 昨日、何をしましたか？

A: Včera, to jsem se učil, psal seminárku, sledoval videa na internetu.

j. Q: 一昨日おととい、何をしましたか？

A: Předevčirem jsem byl u lékaře, nechal si ostříhat vlasy...

- IV. Vyjadřujte japonsky, co obvykle děláte o letních/zimních prázdninách.
- koupání se v moři, hraní tenisu, bavení se s přáteli...
 - ježdění na hory, lyžování, stavění sněhuláka (雪^{ゆき}だるま)...
 - spaní do jedenácti, dívání se na televizi, neučení se...
 - jezení *rámenu*, pití *nihonšu*...
 - dostání chuti na cestu do Japonska, v Japonsku si zajít do termálních lázní...
 - nechození ven, povídání si s přáteli po telefonu, čtení si...
- V. Překládejte do japonštiny s využitím konstrukcí pro vyjádření nutnosti či svolení.
- Už je jedenáct, tak musím jít zpátky na koleje.
 - Máme čas, tak nemusíme spěchat.
 - Můj dům je daleko od nádraží, tak musím chodit zhruba 20 minut pěšky.
 - Zítra je volno, tak se nemusíme učit.
 - Moji japonští kamarádi umí anglicky, tak nemusím mluvit japonsky.
 - Mám horečku, tak musím jít do nemocnice.
 - Mám nějakou záležitost k vyřízení, tak musím jít ven.
 - Není to žádné zlé onemocnění, tak si nemusíte dělat starosti.
 - Nejsou prázdniny, tak musím brzo ráno vstávat.
 - Není moc horko, tak nemusíme zapínat klimatizaci.
- VI. Překládejte souvislý text s výrazy pro vyjádření nutnosti:
- Ken musí v sedm hodin vstát. V osm musí vyrazit z domu. V devět musí být ve vyučování. V jednu hodinu po obědě se musí sejit s profesorem Jošidou. Od dvou hodin musí učit svoji kamarádku Kate japonštinu. V pět hodin musí jít domů a napsat domácí úkol. V osm hodin musí zavolat rodičům. V devět se musí okoupat a v deset si musí vzít prášek. V jedenáct hodin musí jít spát.

VII. Překládejte dialogy s vhodnými tvary predikativů.

a. Q: Už jsi jedl oběd?

A: Ne, ještě jsem neobědval. / Ano, už jsem obědval.

b. Q: Už jsi byl někdy v Tokiu?

A: Ano, už jsem tam byl. / Ne, ještě jsem tam nikdy nebyl.

c. Q: Koupil sis už ten slovník čínských znaků?

A: Ne, ještě jsem si ho nekoupil. / Ano, už jsem si ho koupil.

d. Q: Už sis udělal domácí úkol?

A: Ano, už jsem ho udělal. / Ne, ještě ho nemám udělaný.

e. Q: Už jsi mluvil s panem profesorem?

A: Ne, ještě jsem s ním nemluvil. / Ano, už jsem s ním mluvil.

f. Q: Už jsi pouklízel pokoj?

A: Ano, už jsem ho pouklízel. / Ne, ještě jsem ho nepouklízel.

VIII. Překládejte věty do japonštiny. Volte vhodné číselné klasifikátory.

a. Ten film jsem viděl dvakrát.

b. Koupil jsem deset pohlednic.

c. Pořídil jsem pět fotek.

d. Včera jsem tuto písničku slyšel čtyřikrát.

e. Koupil jsem si dvě nová kola.

f. Snědl jsem pět pomerančů.

g. Tuhle knihu jsem četl už třikrát.

h. Před školou jsou dvě sakury.

i. Minulý týden jsem byl dvakrát v Tokiu.

j. Koupil jsem si tři slovníky.

k. Jedenkrát jsem volal rodičům.

l. Potkal jsem čtyři kamarády.

IX. Doplňujte do dialogů vhodná „zájmena“ a výsledek překládejte.

- a. Q: _____ 飲みますか？
A: はい、コーラはありますか？
- b. Q: _____ へ行きましょうか？
A: そうですね。デパートはどうですか？
- c. Q: そこに _____ いますか？
A: はい、^{たけだ}武田さんがいます。
- d. Q: この映画の中で _____ を見ましたか？
A: いいえ、どれも見ていません。
- e. Q: この ^{さんさつ}三冊の本の中のどれがいいですか？
A: _____ いいですよ。
- f. Q: 今年の夏はどこへ ^{りょこう}旅行 しましょうか？
A: 私は _____ いいですよ。
- g. Q: 土曜日がいいですか、日曜日がいいですか？
A: _____ いいですよ。
- h. Q: あそこに ^{だれ}誰 がいきましたか？
A: _____ いませんでした。
- i. Q: みんなに会いますか？
A: いいえ、 _____ 会いません。

j. Q: _____ 来ますか？

A: いいえ、_____ 来ません。

k. Q: _____ へ行きましょうか？

A: いいえ、家にいましょう。今日は_____ こんでいますから。

X. Utvářejte odpovědi s využitím neurčitých či negačních „zájmen“.

a. Q: 先週の日曜日、どこかへ行きましたか？

b. Q: 何を食べますか？

c. Q: いつか ^{いっしょ}一緒に映画を ^み観ませんか？

d. Q: ^{いんしゅうんてん}飲酒運転をしますか？ (Pozn.: 飲酒運転 = řízení pod vlivem alkoholu)

e. Q: ^{しゅっせいとどけ}出生届がありますか？ (Pozn.: 出生届 = rodný list)

XI. Překládejte do japonštiny paralelně věty s konkrétními substantivy/adverbii a následně se „zájmeny“. Zaměřte se na podtržené výrazy a na užití pádových partikulí.

a. Dopis jsem babičce neposlal.

Dopis jsem nikomu neposlal.

b. Přišel pan Takeuči?

Přišel někdo?

c. Sestra včera kamarádce představila naši maminku.

Sestra včera někomu představila naši maminku.

d. Na filmy se rád dívám se svým bráškou.

Na filmy se rád dívám s kýmkoliv.

e. Dejme si zítra před školou sraz.

Dejme si zítra někde sraz.

- f. Hodlám vzít své rodiče do Parku Hibija v Tokiu.
Hodlám vzít své rodiče všude po Tokiu.
- g. Mně se to hodí ve středu.
Mně se to hodí kdykoliv.
- h. Na ten film se příští týden nepodívám.
Na ten film se nikdy nepodívám.
- i. Zítra hodlám jet s Klárou do Berlína.
Zítra hodlám jet s někým do Berlína.
- j. Nedáme si zítra spolu pivo?
Nedáme si někdy spolu pivo?

やりとり Funkční cvičení

- I. Zeptejte se komunikačního partnera,
- kdy a kým byla postavena Karlova univerzita.
 - jaké noviny se hodně čtou v jeho rodném městě.
 - jaká píseň se často zpívá v jeho zemi.
 - jaká věc se vyrábí v oblasti, odkud pochází.
 - na jaké televizní stanici (テレビ局^{きょく}) se sledují zprávy v jeho rodině.
- II. Odpovězte sami na otázky cv. I výše.
- III. Popisujte různé akce či aktivity,
- které děláte o letních prázdninách.
 - které byste chtěli dělat v Japonsku.
 - které děláte neradi.
 - které jste často dělali jako malí.
 - které jste jako malí dělali společně s rodiči.
 - které umí dobře váš přítel/vaše přítelkyně.

- IV. Vyjádřete, co všechno jste museli a/nebo nemuseli dělat:
- když jste byli malí
 - jako studenti základní školy
 - jako studenti střední školy
 - jako studenti 1. ročníku vysoké školy
- V. Počítejte vybrané objekty ve své bezprostřední blízkosti a vyjadřujte jejich počet s využitím vhodných číselných klasifikátorů.
- VI. Vyjmenujte, kolik kterého zboží jste koupili při svém posledním nákupu v supermarketu či v obchodním domě.

発見の課題 Úkol pro samostudium

- Pokuste se vypsát příklady všech doposud probraných konstrukcí s číselnými klasifikátory.
- Zjistěte, jaké entity se klasifikují a počítají pomocí následujících číselných klasifikátorů. Dejte příklad užití ve větě:

| | |
|---------------------|----------------------|
| ● ～羽 | ● ～ ^{せき} 隻 |
| ● ～ ^{とう} 頭 | ● ～ ^{ちゃく} 着 |
| ● ～ ^{しゅ} 首 | ● ～ ^{そく} 足 |
| ● ～ ^ほ 歩 | ● ～ ^{きょく} 曲 |
| ● ～ ^{ごう} 号 | ● ～ ^{つう} 通 |
- Najděte příklad japonského uměleckého (např. literárního) díla, které má v názvu nějaký číselný klasifikátor.
- Přečtěte si studii G. Lakoffa o klasifikátoru 本 v knize *Ženy, oheň a nebezpečné věci: Co kategorie vypovídají o naší mysli* (Triáda, 2006, str. 113–122). Originál: *Women, Fire and Dangerous Things: What Categories Reveal about the Mind* (The University of Chicago Press, 1987, str. 104–114).

- V. Japonština využívá systému vybraný čínských znaků *kandži* pro označení zemí, států či jiných geograficko-správních celků. Tyto znaky se používají mj. jako symboly daných zemí či jejich jazyků v opozicích (např. ^{えいわじてん}英和辞典 – ‘anglicko-japonský slovník’, ^{にっちゅうかんけい}日中関係 – ‘japonsko-čínské vztahy’ apod.). Pokuste se do následujícího přehledu doplnit odpovídající země:

| | | | | |
|-----|---|----------|---|---|
| 和・日 | → | Japonsko | 氷 | → |
| 英 | → | | 愛 | → |
| 中・華 | → | | 土 | → |
| 韓 | → | | 比 | → |
| 米 | → | | 波 | → |
| 仏 | → | | 葡 | → |
| 蘭 | → | | 露 | → |
| 印 | → | | 西 | → |
| 独 | → | | 加 | → |
| 台 | → | | 墨 | → |
| 濠 | → | | 欧 | → |